

鉄砲洲神社素読論語 解説

(平成 24 年 6 月 1 日)

先進第十一

【四】子曰く、考なるかな閔子騫。人 其の父母昆弟の言を聞せず。

孔子が言うには、閔子騫は親孝行だね。人は閔子騫の両親兄弟が、閔子騫のことを褒めており、それに対して誰も異議は言わない、批評はしない。従って孝行者だというのは、みな承知していると捉えます。

今も孝行者はいるのでしょうかけれども、あまり聞きませんね。

閔子騫には彼が主人公の親孝行物語がありまして、そのあらまは、閔子騫には継母がいます、その継母が実子ばかり可愛がっていた。ある寒い日に父親が閔子騫の手袋を見たら、薄ぺらな手袋をはめて寒そうにしていた。家に帰り後妻の方の子供を見たら、暖かそうな手袋をしていた。父親は腹を立てて後妻を追い出そうとしたら、閔子騫が父親を止めて継母をかばったそうです。自分に辛くあたる継母をかばう位だから、親孝行者だという話が広がったものです。

【五】南容 白圭を三復す。孔子 其の兄の子を以て之に妻あわす。

南容が白圭の詩（白い玉が欠けたものは磨いて消せるが、人の言動で良くないものは消すことが出来ない）を三復というのは、三度ではなく、何度も繰り返し愛唱していた。孔子はその南容の素晴らしさを見て、自分の姪を妻として娶せた。

この辺りは、品物が傷ついたり壊れたりしたものは直すことは可能だけれども、人が失言したものは取り返しがつかないということです。

これは世の中、失言だらけで取り返しがつかない事ばかりなので、よくよく気をつけた方が良いでしょう。

最近夫婦間の科白が気になりまして、たいがい男の方は言った事は忘れてしまいますが、女性は昔々の話をよく覚えています。そしてチクリチクリと刺してくると、男の方は思いますけれども、女の方は忘れないでよく覚えています。2~30年昔の事、下手したらもっと昔の事を覚えている。私だけではなく、周りの方からもよく話は聞きます。

皆さんも、まだまだ先は長いですから、それらは過去の話ではなくて今後も気をつけた方が良いでしょう。

【六】季康子 問う。弟子 孰が学を好むと為すと。孔子 対えて曰く、顔回という者有り、

がく この 学を好めり。不幸 短命にして死せり。今や則ち亡しと。

季康子が、「弟子の中で学を好む者は誰か」と聞いたら、孔子は「弟子に顔回という者がいて、非常に学を好んでいたが、早死にしまい今はもういない、実に嘆かわしい悲しい」と答えたという話です。

孔子と顔回の師弟関係というのは、他の人が入り込めない様な人間関係だなと感じます。

【七】顔淵 死す。顔路 子の車を請いて、以て之が椁を為らんとす。子曰く、才も不才も亦 各 其の子と言うなり。鯉や死せるとき、棺有りて椁無し。吾 徒行して以て之が椁を為らざりき。吾れ大夫の後に従うを以て、徒行すべからざればなりと。

顔回が死んだ時に、顔路というのは顔回の父親ですが、孔子の車を是非私に下さいと頼んだ。それを売って顔回の棺の外ばこを作ろうと思っていました。孔子は自分の子に才があってもなくても、それぞれやはり我が子のことだ。鯉（孔子の息子）が死んだ時には、棺はあったが外ばこは無かった。だが私は車を売って徒歩までして、外ばこは作らなかった。孔子が大臣の末席に連なっていたから、車に乗らないで歩くというのは、体面上できるものではないと答えた。